

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 石油資源開発株式会社

上場取引所 東

コード番号 1662 URL <http://www.japex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺修

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 広報グループ長

(氏名) 長谷川茂吉

TEL 03-6268-7110

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	37,790	△36.1	2,497	△45.8	4,679	△15.2	4,106	△1.8
21年3月期第1四半期	59,123	—	4,607	—	5,520	—	4,181	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	71.85	—
21年3月期第1四半期	73.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	527,604	398,082	74.1	6,844.69
21年3月期	500,444	378,227	74.1	6,486.85

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 391,194百万円 21年3月期 370,743百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	69,913	△37.0	1,334	△89.4	3,043	△77.2	2,105	△77.5	36.83
通期	153,422	△24.1	6,454	△67.9	10,748	△51.9	7,744	△38.3	135.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 57,154,776株 21年3月期 57,154,776株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,825株 21年3月期 1,783株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 57,152,961株 21年3月期第1四半期 57,153,339株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年3月期の業績予想に関する事項につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における売上高は37,790百万円と前年同期に比べ21,333百万円の減収(△36.1%)となり、売上総利益は12,675百万円と前年同期に比べ5,979百万円の減益(△32.1%)となりました。前年同期に比べて減収減益となった主な要因は円高と原油価格の下落によるものであります。

探鉱費は国内での支出が減少して2,866百万円と前年同期に比べ3,296百万円減少(△53.5%)し、販売費及び一般管理費も中国で課される石油特別収益金の減少などにより7,310百万円と前年同期に比べ573百万円減少(△7.3%)した結果、営業利益は前年同期に比べて2,109百万円減益(△45.8%)の2,497百万円となりました。

経常利益は前年同期の為替差損が差益に転じたことなどにより、前年同期に比べて840百万円減益(△15.2%)の4,679百万円となりました。

なお、当社の関連会社であるDiamond Gas Netherlands B.V.は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

税金等調整前四半期純利益は前年同期に比べて917百万円減益(△16.7%)の4,586百万円となり、四半期純利益は法人税等が減少した結果、前年同期に比べて75百万円減益(△1.8%)の4,106百万円となりました。

なお、事業部門別の業績は次のとおりであります。

(イ) 原油・天然ガス事業部門

原油・天然ガス事業部門は、原油、天然ガス、液化天然ガス(LNG)及びビチューメンの販売からなり、当第1四半期連結会計期間においては、主に原油やビチューメン価格の下落により売上高は34,681百万円と前年同期に比べ20,276百万円の減収(△36.9%)となりました。

(ロ) 請負事業部門

請負事業部門は、主に削井工事及び地質調査の受注等からなり、当第1四半期連結会計期間における売上高は419百万円と前年同期に比べ84百万円の減収(△16.8%)となりました。

(ハ) その他事業部門

その他事業部門は、主に液化石油ガス(LPG)・重油等の石油製品の販売、天然ガス・石油製品の受託輸送及びその他業務受託等からなり、当第1四半期連結会計期間の売上高は2,689百万円と前年同期に比べ972百万円の減収(△26.6%)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ27,160百万円増加し、527,604百万円となりました。これは主に国際石油開発帝石(株)等の株価上昇による投資有価証券の増加などによるものです。

また、負債の部及び純資産の部につきましては、前述の投資有価証券の増加によりそれぞれ繰延税金負債及びその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、負債合計は7,305百万円増加の129,522百万円となり、純資産合計は19,854百万円増加の398,082百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年5月14日に公表した業績予想を見直しいたしました。本日平成21年8月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度の時期的な変動により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰り延べております。

②税金費用の計算

税金費用については、当社及び一部の連結子会社は当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、長期の大規模工事（工期1年超、請負金額30億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,191	27,702
受取手形及び売掛金	15,053	17,050
有価証券	12,858	11,510
商品及び製品	4,432	4,255
仕掛品	561	553
原材料及び貯蔵品	7,627	6,200
その他	32,235	29,859
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	96,947	97,120
固定資産		
有形固定資産	142,545	142,767
無形固定資産		
のれん	806	1,063
その他	3,295	3,328
無形固定資産合計	4,101	4,392
投資その他の資産		
投資有価証券	269,604	241,945
その他	20,593	20,091
貸倒引当金	△70	△68
海外投資等損失引当金	△6,118	△5,803
投資その他の資産合計	284,009	256,164
固定資産合計	430,656	403,324
資産合計	527,604	500,444

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,266	6,508
未払法人税等	285	392
引当金	211	282
その他	13,739	16,909
流動負債合計	23,503	24,093
固定負債		
長期借入金	24,408	25,325
繰延税金負債	68,512	60,108
退職給付引当金	5,960	5,732
廃鉦費用引当金	5,910	5,725
その他の引当金	661	694
その他	565	535
固定負債合計	106,018	98,123
負債合計	129,522	122,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,288	14,288
利益剰余金	259,168	255,499
自己株式	△9	△9
株主資本合計	273,447	269,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121,174	105,430
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△3,426	△4,465
評価・換算差額等合計	117,746	100,964
少数株主持分	6,887	7,484
純資産合計	398,082	378,227
負債純資産合計	527,604	500,444

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	59,123	37,790
売上原価	40,469	25,115
売上総利益	18,654	12,675
探鉱費		
探鉱費	7,083	2,892
探鉱補助金	△920	△25
探鉱費合計	6,162	2,866
販売費及び一般管理費	7,883	7,310
営業利益	4,607	2,497
営業外収益		
受取配当金	1,433	1,527
持分法による投資利益	637	612
その他	654	708
営業外収益合計	2,725	2,848
営業外費用		
海外投資等損失引当金繰入額	—	315
廃鉱費用引当金繰入額	—	193
為替差損	1,021	—
その他	791	157
営業外費用合計	1,812	666
経常利益	5,520	4,679
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5	2
前期損益修正益	—	147
その他	—	0
特別利益合計	5	150
特別損失		
固定資産除却損	20	11
過年度退職給付費用	—	231
特別損失合計	20	243
税金等調整前四半期純利益	5,504	4,586
法人税等	1,275	355
少数株主利益	47	124
四半期純利益	4,181	4,106

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表関係)

前第1四半期連結会計期間において、固定負債の「引当金」に含めて表示しておりました「退職給付引当金」及び「廃鉱費用引当金」は、負債及び純資産の合計額の100分の1を超えたため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期連結会計期間の固定負債の「引当金」に含まれる「退職給付引当金」及び「廃鉱費用引当金」は、それぞれ5,427百万円、4,139百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「海外投資等損失引当金繰入額」及び「廃鉱費用引当金繰入額」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「海外投資等損失引当金繰入額」及び「廃鉱費用引当金繰入額」は、それぞれ320百万円、138百万円であります。

(2) 生産・販売の状況

① 生産実績

石油・天然ガス関連事業

事業部門	製品別	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	(参考) 前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
		原油・天然 ガス	原油 (kl)	182,381 (41,565)
天然ガス (千m ³)	285,962 (13,350)		273,565 (13,254)	1,286,621 (57,843)
液化天然ガス (t)	7,873		11,236	46,796
ビチューメン (kl)	106,430 (106,430)		98,597 (98,597)	416,369 (416,369)

(注) 1. 原油、天然ガス及びビチューメンの()は海外での生産であり、内数です。

2. 天然ガスの生産量の一部は、液化天然ガスの原料として使用しております。

3. ビチューメンとはオイルサンド層から採取される超重質油です。

② 販売実績

石油・天然ガス関連事業

事業部門	製品別	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
		数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)
		原油・天然 ガス	原油 (kl)	499,414	36,857	458,977	16,348
天然ガス (千m ³)	325,699		11,505	319,813	13,779	1,485,961	54,126
液化天然ガス (t)	40,787		2,771	38,816	3,035	177,401	13,412
ビチューメン (kl)	106,748		3,822	98,074	1,517	417,423	13,087
	小計		54,957		34,681		183,471
請負			504		419		4,739
その他			3,661		2,689		13,916
	合計		59,123		37,790		202,127

(注) 1. その他事業部門は、液化石油ガス (LPG) ・重油等の石油製品の販売、天然ガス・石油製品の受託輸送及びその他業務受託等です。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。